



●発行：立科町公民館 ●編集：館報編集委員会 TEL 0267-56-2311(代)



### 「春の音」 [写真提供：蓼科写真クラブ]

今年はその太陽の不思議な姿が見ることができず。5月21日の朝、地球と太陽の間に月が入る金環日食が見られます。完全に隠れてしまう皆既日食と違い、太陽がリング上に見える時間帯があります。日食は朝6時30分頃から9時頃までと長い時間観測できます。

その昔、天照大神が天岩戸に隠れて世の中が闇になるといわれる話は、日食を表したものだともいわれています。この次に日本で見られる金環日食は2030年だそうです。大自然の神秘を感じられる瞬間です。

T・T

### 風見鶏

少し前まで、冬の晴れた南の夜空に青白く輝く星が見えました。夜空に見える星の中で太陽の次に最も明るい恒星のシリウスで冬の星座おおいぬ座の星です。シリウスという名前は焼き焦がすものというギリシャ語からきたものです。この名前がついた頃は夏には日の出の直前に東の空から昇っており、夏の焼け付くような暑い季節はシリウスと太陽と一緒に現れてもたらされるものと考えられていたようです。

明るく見える理由は他の星に比べて近いこととありますが、シリウス自体の明るさは太陽の26倍です。地球からの距離は8.6光年。光のスピードで8.6年。太陽までは光のスピードで8分20秒です。